



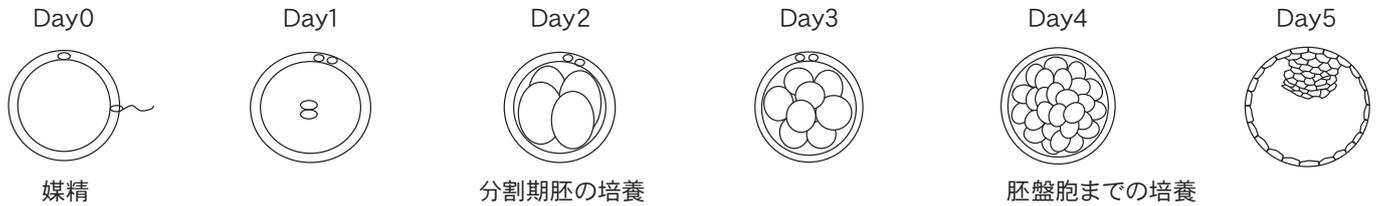
NI Fertilization Medium



- 5~6% CO₂気相下でご使用ください。
- NPS (代替血清) を添加してご使用ください。
- ロット毎にpH、浸透圧、エンドトキシン濃度のチェック、無菌試験、マウスエンブリオアッセイを行っております。
- 使用期限(製造後70日)はバイアルラベルの下部に表示してあります。
例 : Exp.2017.10.04 = 使用期限2017年10月4日

カタログ番号	品名	用途	内容	使用期限/保存条件
NF050	NI ファティリゼーションメディウム	媒精 (Day0~1) 卵子洗滌	50ml×2本	製造後70日/ 要冷蔵 (2~8℃)
NF100			100ml	

NI Fertilization Medium



使用例

NPSを10%添加したNI ファティリゼーションメディウムを媒精用ディッシュ(Falcon 353037)のセンターウェルに1ml、周りに4ml入れ、採卵前日(もしくは短くても媒精の4時間前)から5~6% CO₂インキュベーター内で平衡化させておきます(無加湿型インキュベーターで平衡化を行う際は必ずオイルカバーをしてください)。

1個のOCC(卵子 卵丘細胞複合体)と、グッドスパーム®で濃縮・洗滌処理した精子10万個の運動精子を上記ディッシュに加えて媒精を行います。複数のOCCを媒精する場合にはOCCの個数×10万個の精子を加え5~6% CO₂インキュベーター内に静置します。媒精翌日、もしくは数時間後にマイクロピペットを使用して丘細胞を丁寧に除去し受精を確認してください。受精確認後はONESTEPメディウム、またはP+クリベージメディウムとP+プラストシストメディウムを使用して胚培養を継続してください。

特長

NI ファティリゼーションメディウムにはエネルギー代謝、浸透圧の維持調整及び胚の発育促進のため、従来のHTFメディウムにタウリン及び5種の非必須アミノ酸(アスパラギン、アスパラギン酸、グリシン、プロリン、セリン)等を加えてあります。

至適pH

胚培養にはpHの管理が非常に重要です。ご使用前に5~6% CO₂の培養環境下で平衡化してください。平衡化の後、メディウムのpHを測定し下記の至適pH範囲であることが望まれます。

カタログ番号	培養液	至適pH
NF050	NI ファティリゼーションメディウム	7.20~7.40
NF100		

注意点

使用期限は製造後70日(ラベルに記載)です。ただし、開封後は無菌的に冷蔵保存し(2~8℃)、なるべく早めにご使用ください(2週間以内が望ましい)。バイアルから必要量を採取する時はCO₂ガスの漏出を防ぐために速やかに密封してください。

※本製品は薬事法の定めるところの医療機器、体外診断薬ではありません。ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。※記載の仕様等は、予告なく変更される場合があります。写真と実際の製品とは若干異なる場合があります。

販売代理店

販売元



株式会社ナカメディカル

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
Tel.(042)529-9313 Fax.(042)529-9517

<http://www.nakamedical.co.jp>

製造元 ● 株式会社細胞科学研究所